

# 安全データシート (SDS)

作成日：2008年 5月12日

改訂日：2023年 1月19日

## 1. 製品及び会社情報

製品名 TQ-20R  
会社名 株式会社ジイ・アンド・テイ商会  
住所 〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町23番地  
電話番号 045-681-3388  
FAX番号 045-661-1670

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

人健康有害性：眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性 区分2B  
発がん性 区分1A  
生殖毒性 区分1A  
特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分3（気道刺激性、  
麻酔作用）  
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分1（肝臓）  
区分2（中枢神経系）

### ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：危険

危険有害性情報：眼刺激

発がんのおそれ  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
呼吸器への刺激のおそれ  
眠気又はめまいのおそれ  
長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓の障害  
長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ

### 注意書き

【安全対策】：使用前に取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後は手をよく洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
保護手袋、保護衣、保護眼鏡等を着用すること。

- 【応急処置】：吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 気分が悪いときは医師に連絡すること。  
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。  
 その後も洗浄を続けること。  
 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当を受けること。  
 気分が悪いときは、医師の診断、手当を受けること。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること。
- 【保管】：換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
 施錠して保管すること。
- 【廃棄】：内容物／容器は関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名（又は一般名）：

成分名	含有量	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
エタノール	4～8%	64-17-5	2-202
水	85%以上	7732-18-5	—
その他	非公開	既存	既存

### 4. 応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 気分の悪い状態が続く場合には医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合：多量の水で洗い、水と石鹼で皮膚を洗浄して下さい。
- 目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外して洗浄を続けること。その後も洗浄を続けること。  
 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当を受けること。
- 飲み込んだ場合：無理に吐かせないで、口の中を水ですすぐだけにしてください。  
 気分の悪い状態が続く場合には医師の診察を受けて下さい。

### 5. 火災時の措置

消火剤：水分が85%以上なので基本的には引火しない。周辺火災の場合には全ての消火剤が使用可能。

使ってはならない消火剤：無し

消火方法：周辺火災の場合、可能であれば容器を安全な場所に移す。  
 容器を移動できない場合には、延焼のおそれのないように、水スプレーで周囲のタンク、建物等の冷却を行う。

消火作業は風上から行い、必要に応じて適切な保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：直ちに適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項：土砂、土のう等で周囲への拡散を防止する。漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。

回収、中和：少量の場合は乾燥土、砂等で吸収し、密閉できる空容器に回収する。多量の場合は盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。回収したものは、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策：水を85%以上含有しているので、引火はしにくい。

吸入の恐れがある場合には適切な保護具を着用して下さい。

粘膜又は衣類に触れたり、目に入らないようにする。

局所排気・全体排気：揮発性が低いので排気の必要性は低いが、排気する場合には防爆タイプの局所排気装置を用いる。

安全取扱い注意事項：容器は手荒な扱いをせず、内容物の漏洩を防止する。

### 保管

保管条件：容器は密閉して、保管すること。

直射日光の当たらない、常温常湿下で保管して下さい。

容器包装材料：樹脂製容器(ポリ容器等)

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度：STEL 1000ppm (ACGIH (2009年)：エタノール)

設備対策：防爆の設備・換気・照明機器を使用すること。

保護具：呼吸器の保護具 有機ガス用防毒マスク、送気マスク

手の保護具 耐溶剤性手袋

目の保護具 保護眼鏡、ゴーグル

皮膚及び身体の保護具 長靴、前掛け

## 9. 物理的及び化学的性質

外観等：無色透明液体

比重：1.00±0.10 (20℃)

pH：7.00±0.2

引火点：データなし

溶解性：水に任意の割合で混合

## 10. 安定性及び反応性

- 安定性：通常の取扱い条件では安定である。  
危険有害反応可能性：水を85%以上含有しているため燃えにくい。  
避けるべき条件：熱、火花、裸火、高温のもののような着火源。  
混触危険物質：熱、火花、裸火、高温のもの

## 11. 有害性情報

《この製品に対する情報が少ないので、成分中のエタノールを記載いたします》  
《エタノール》

- 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：眼刺激（区分2B）  
発がん性：発がんのおそれ（区分1A）  
生殖毒性：生殖能又は胎児への悪影響のおそれ（区分1A）  
特定標的臓器・全身毒性：気道刺激性、麻酔作用（区分3）  
長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓の障害（区分1）  
長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ（区分2）

## 12. 環境影響情報

- 生態毒性：データなし  
残留性・分解性：データなし  
生体蓄積性：データなし  
土壌中の移動性：データなし  
《この製品に対する情報が少ないので、成分中のエタノールを記載いたします》  
《エタノール》  
水生生物環境急性有害性：区分外  
水生生物環境慢性有害性：区分外

## 13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物：関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。  
汚染容器及び包装：容器は洗浄し、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。

## 14. 輸送上の注意

- 陸上規制情報：非該当  
海上規制情報：非該当  
航空規制情報：非該当

## 15. 適用法令

- 労働安全衛生法：名称等を通知すべき危険物及び有害物（エタノール）  
名称等を表示すべき危険物及び有害物（エタノール）（2016年  
6月1日以降）  
引火性の物（エタノール）
- 船舶安全法：引火性液体類（エタノール）
- 航空法：引火性液体（エタノール）

## 16. その他の情報

1. 本データシートは、標記の製品の一般的取扱いに関して、弊社が現時点で入手できる資料・情報・データ等を取りまとめたものであり、全ての資料を網羅しているわけではありませんので、その取扱いには十分注意して下さい。
2. 新たな情報を入手した場合には、本データシートを訂正又は追加する場合があります。
3. 標記の製品に、他製品を混合する場合及び特殊な条件下での使用に関しては、使用者において安全を確認して下さい。
4. 本データシートの数値は保証値ではありません。